

つちだの観戦ひとりごと

平成最後の東京都企業春季大会 4時間45分熱闘も惜敗に終わる

前日は今年一番の温かさで東京のさくら開花宣言がありました。今日は花冷えと小雨交じりのお天気で前日温度差10度以上あり肌寒い試合日和となりました。

平成最後の東京都企業春季大会はライバルセガサミー戦エース大久保投手の好投で5回まで4対1とリードするも6回に大久庭投手がつかまり3安打1失点(自からのエラー・バンド処理)で3失点し同点とされる。7回に2安打で1失点(勝ち越され4対5)し、8回同手に追いつき三宮投手に継投、12回まで力投するも13回2死2塁から左中間に打球が飛びレフト井村選手が懸命に追いクラブにと見えたがヘンス直撃の2塁打となり2塁ランナーが決勝のホームインで4時間45分の熱闘に幕を閉じた。

攻撃は2回泉澤選手のレフト前ヒットから始まり大野選手のセンター前・井村選手の送りバンド、小川選手のライト線へ先制の二塁打で2点先取道端選手・大東選手のヒットで1死で木田選手のレフト犠打で3点目を追加する。4回井村選手の2塁打を活かし1点追加4対1とリード、6回に同点とされ7回に追加点で5対4と逆転されるも8回先頭道端選手が列と前ヒット1死2塁から木田選手のライト前ヒットで同点、続く宮川選手もライト前と続くも後続打ち取られ同点止まり。

11回12回とチャンスを作るも一本が出ず得点ならず。

13回先頭打者新人高瀬選手ライト前ヒット送りバンドで1死2塁のチャンス5番大野選手三振2死2塁8番井村選手レフト前にヒットで2塁ランナー高瀬選手ホー

ムに突進するもレフトの好返球に刺された。残念//

今年は勝敗に拘り飽くなき戦いを求め我武者羅に戦ってほしい。

個々の事情があるのかは分らぬが球場入りはスタッフ・選手が一体となりグラウンド入りを求めたい。

試合でのセガサミー初芝監督はアピール行動にしても勝つことを意識し、選手にリーダーシップを発揮していた。

11回泉澤選手のレフトスタンドへホームランかと喜ぶも3塁塁審ファールの判定3塁コーチ増野コーチが異議をベンチに訴えへ、成島監督コートを着たままアピール二言三言で引き返るあの場面はコートを脱ぎ棄てユニフォーム姿で強烈なアピール行動が選手諸君に踏襲を感じさせることが出来たと感じた。

欲しい試合はいらない勝負を賭けた試合であってほしい。

四死球	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	6
安打	0	5	0	1	3	2	0	3	1	0	0	0	2	17
明治安田	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
セガサミー	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1x	6
四死球	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
安打	0	1	1	1	0	3	2	0	0	1	2	0	2	13

明治安田生命

投手 大久保・三宮 捕手 道端・尾嶋

セガサミー

投手 森・石垣・井上・横田・陶久・捕手 須田

一点を守り切る投手陣の強化と1点をもぎとる逞しい攻撃力が都市対抗野球大会出場への課題//

スタッフ一同のリーダーシップと選手諸君の貪欲な勝利意欲を期待。

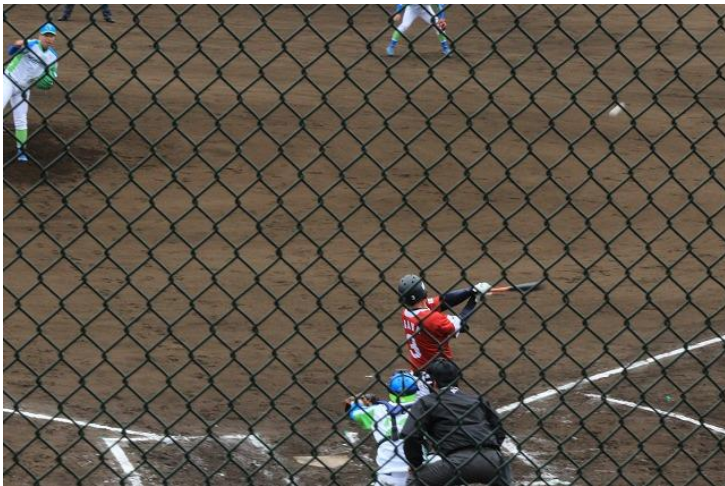
2019年3月23日
土田唯雄



試合前の挨拶



エース大久保投手



2回2点タイムリーの小川選手



先取点のホームを踏む泉澤選手